

【保育施設】

スポット保育士利用に関するアンケート調査

本レポートは、スポット保育士利用に関するアンケート結果を集計し、主要な傾向と示唆を客観的にまとめたものです。

【アンケート概要】

- ・調査対象: コドモンを利用する全国の保育施設
- ・調査方法: メール案内、WEB回答方式
- ・調査期間: 2025年5月15日(木) ~ 2025年5月22日(木)
- ・回答数: 258件
- ・調査会社: 株式会社コドモン

【アンケート結果サマリー】

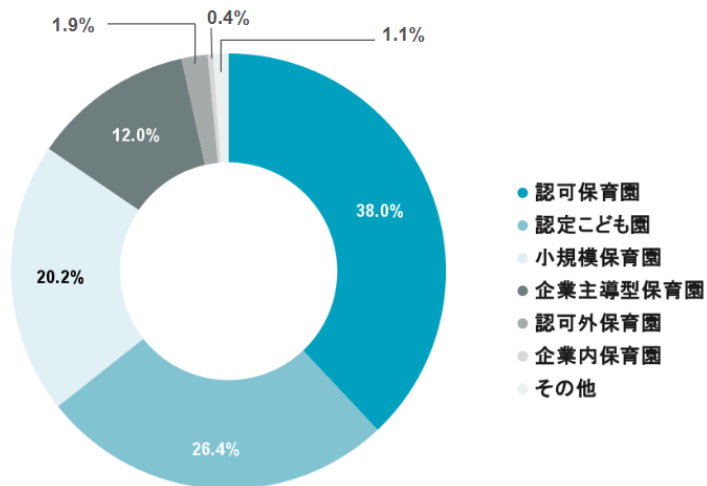
* スポット保育士の利用経験がある施設は全体の12.4%で、約87.6%の施設は利用経験がないという結果。利用経験のある施設は90%以上が満足

* スポット保育士への期待は「補助的業務」に集中し、「担任の代替」は忌避される傾向に

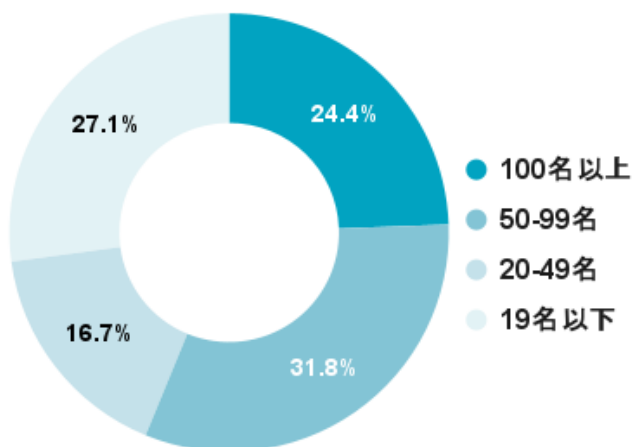
* スポット保育士を今後利用したいと「強く思う」「まあまあ思う」と回答した割合は、利用経験のある層では84.3%に至る一方、利用経験のない層においては、23.7%にとどまり、利用のある、なしによって意見が大きく分かれる結果となった

回答者の属性

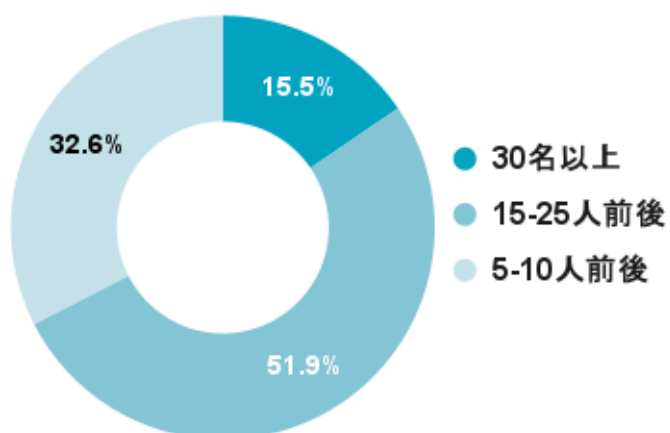
施設種別



施設定員数(または在籍児童数)

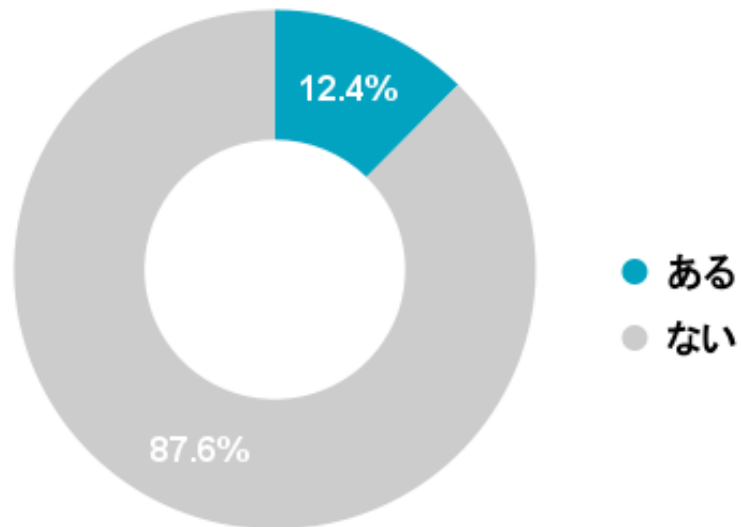


保育士(常勤保育士と非常勤・パート保育士)の人員数

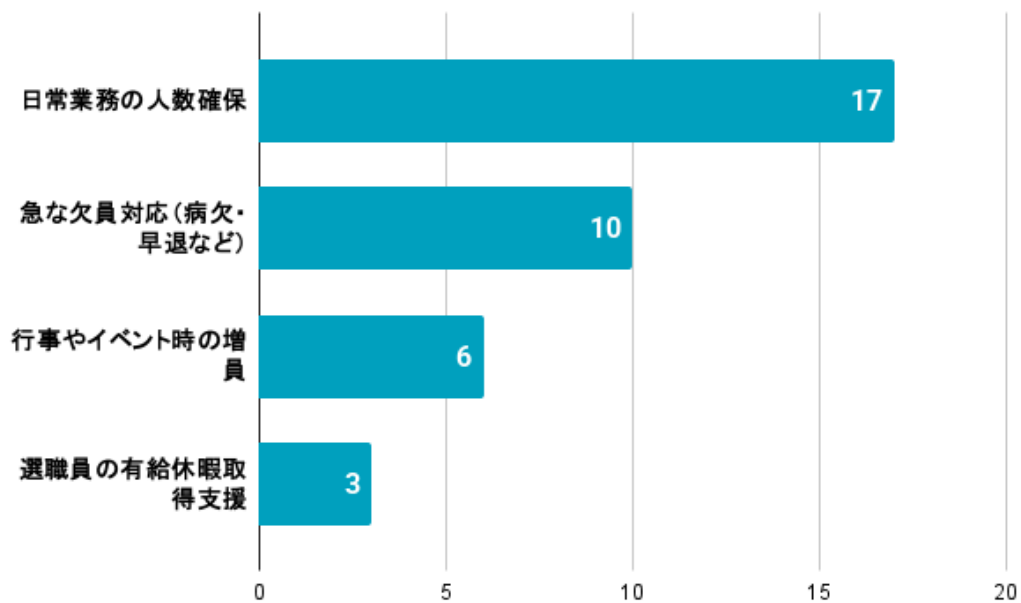


スポット保育士の利用状況

Q1 スポット保育士をこれまでに利用したことがありますか

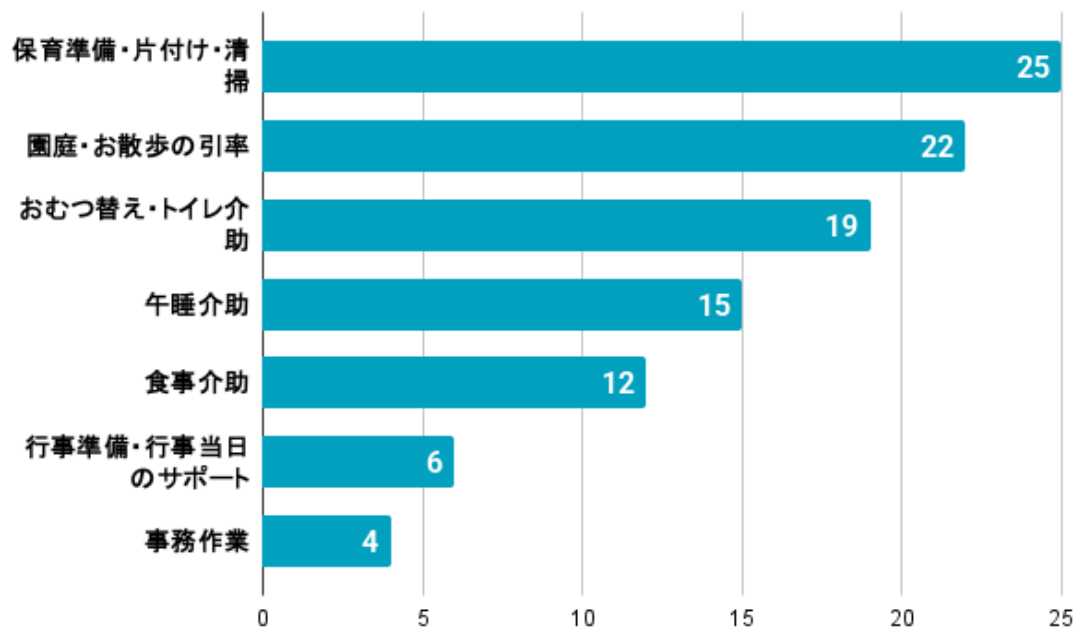


Q2 どのような場面で利用しましたか(複数選択可)

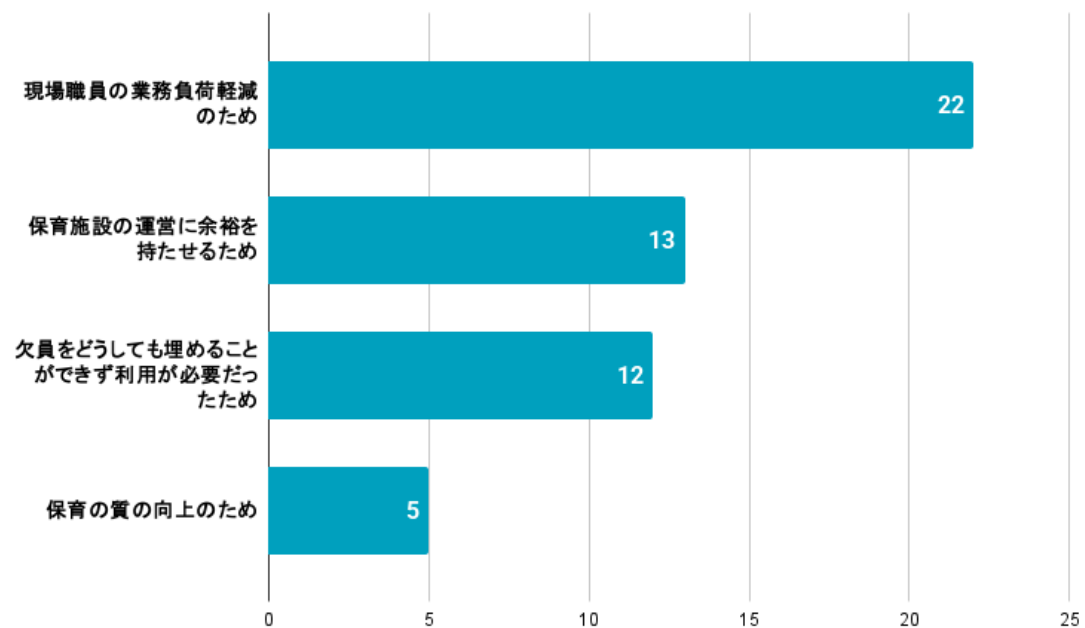


スポット保育士を利用したことがある施設は、全体の12.4%で、日常業務に加えて、急な欠員対応、イベント時など、人員が足りないタイミングに利用されていることがわかります。

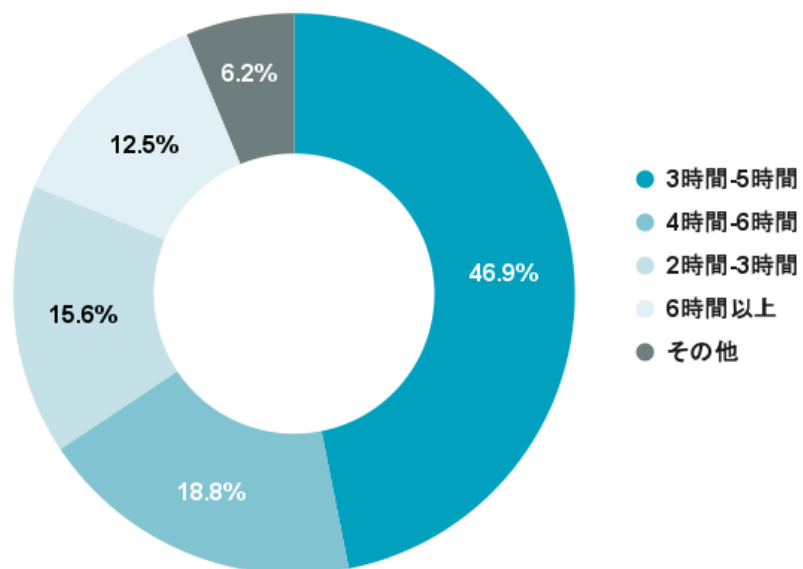
Q3 実際に依頼した業務内容を教えてください(複数選択可)



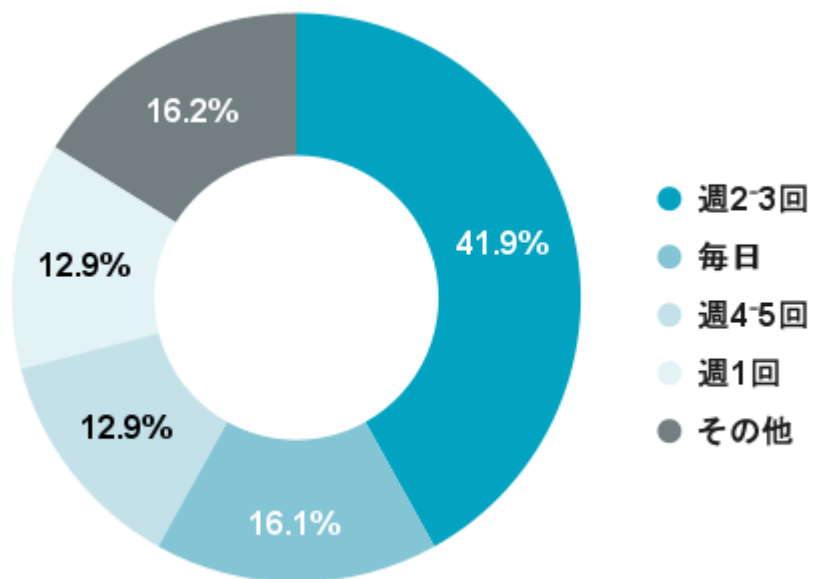
Q4 スポット保育士を利用した背景を教えてください(複数選択可)



Q5 スポット保育士の1日あたりの利用時間はどのくらいですか

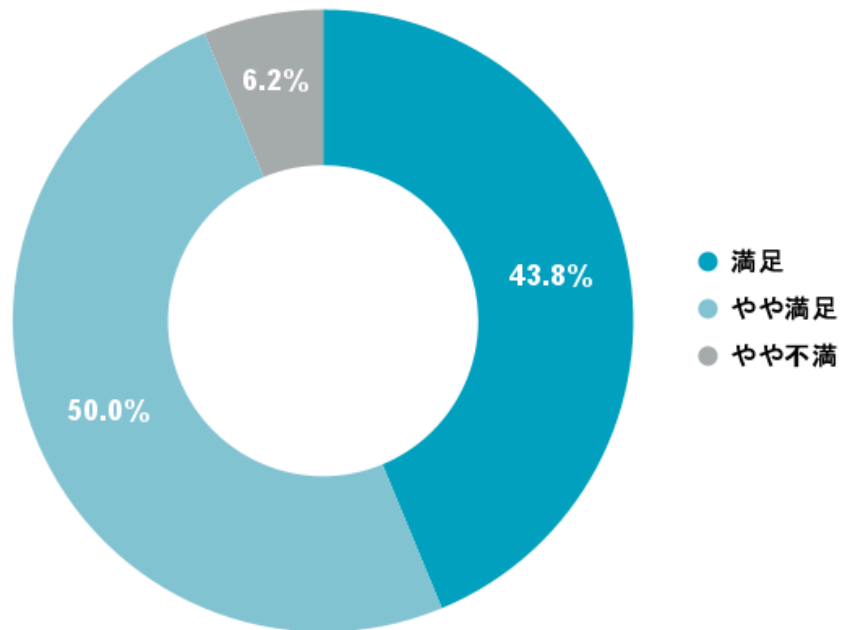


Q6 利用頻度はどのくらいですか



スポット保育士利用の満足度

Q7 スポット保育士を利用した際の満足度を教えてください



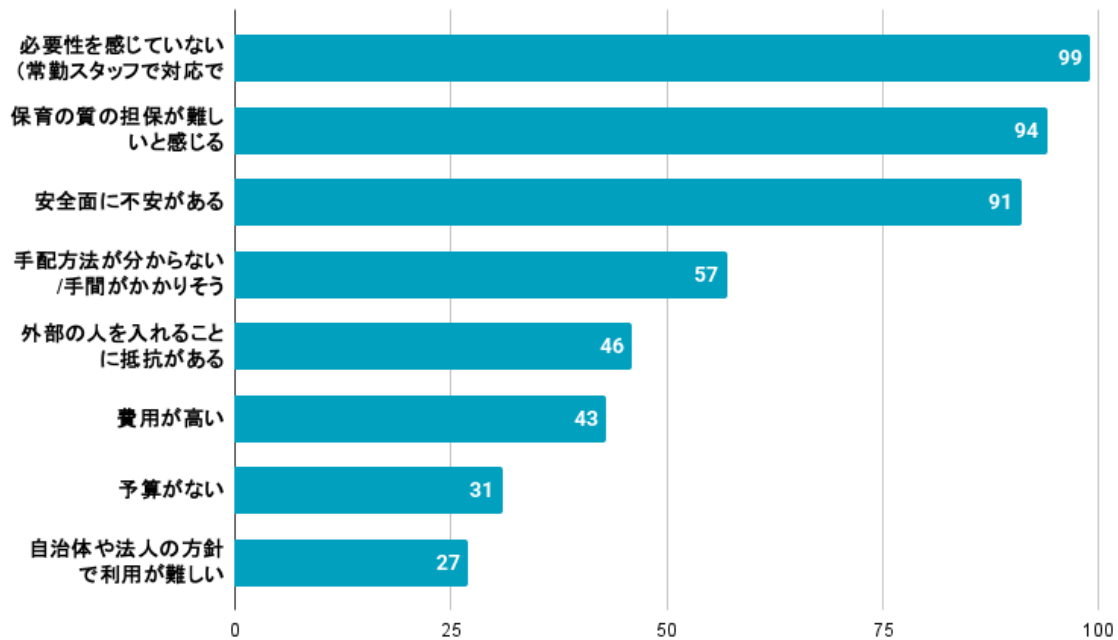
「満足」「やや満足」を合計すると、全体の93.8%が満足しているという結果になり、利用者の9割以上が満足しているという結果が出ています。

Q8 満足度の理由を教えてください(自由回答)

※回答理由(自由回答)については、後半ページに記載しています。

スポット保育士を利用していない理由

Q9 どのような理由でスポット保育士を利用していないのか教えてください(複数選択可)



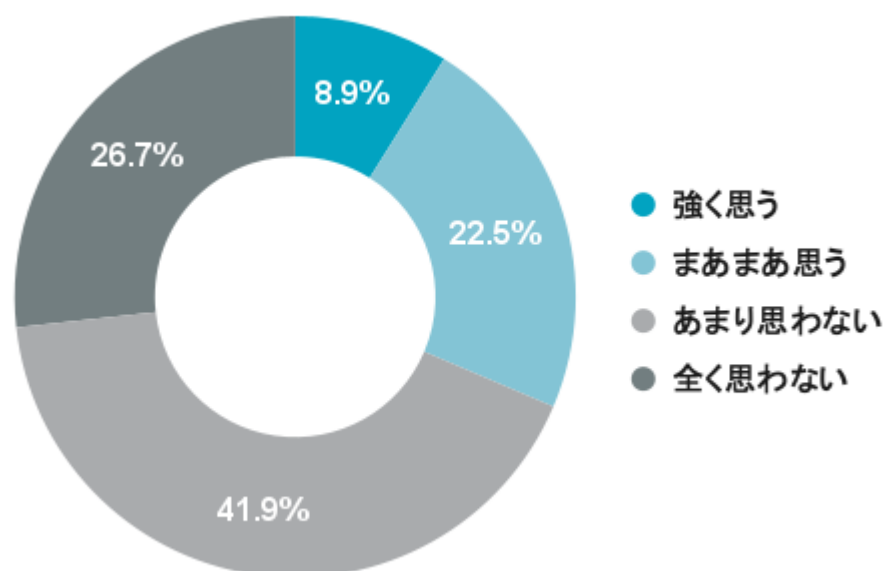
スポット保育士を利用していない理由としては、常勤スタッフで対応できる状態であることに加えて、保育の質や安全面での不安をあげるコメントが多く見られます。

Q10 スポット保育士に対して特に不安に感じている点や、課題があれば教えてください。(自由回答)

※自由回答については、後半ページに記載しています。

スポット保育士の今後の利用について

Q11 今後スポット保育士を利用したいと思いますか



	強く思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
利用経験あり	13	14	4	1
利用経験なし	10	44	104	68

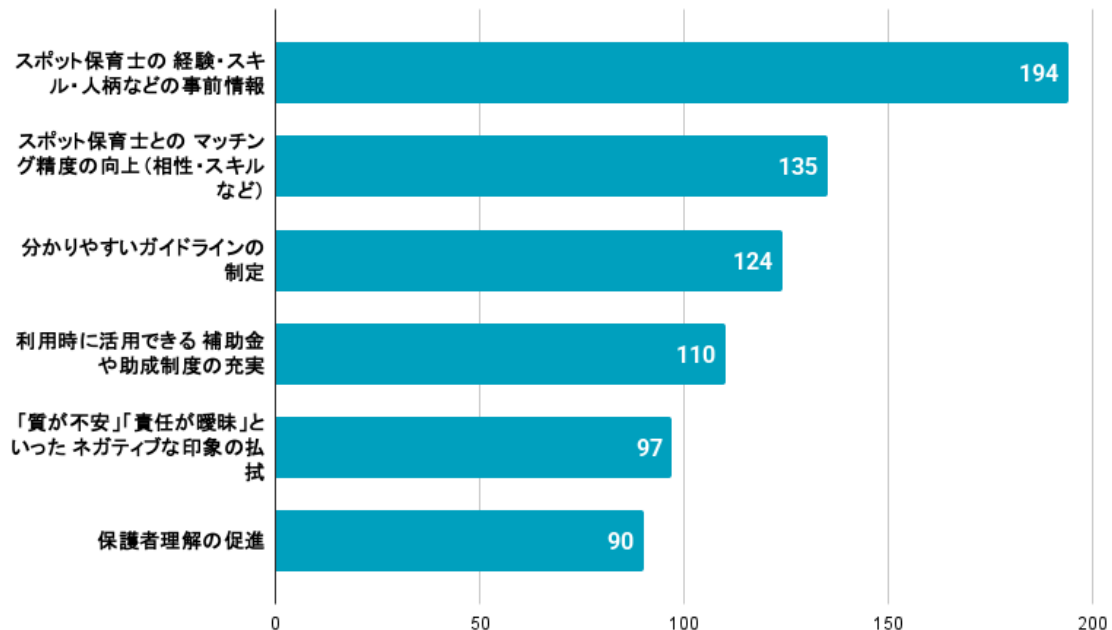
今後の利用について、「強く思う」「まあまあ思う」と回答しているのは、全体の31.4%。利用経験あり、なしの回答者を分けて集計すると、すでに利用経験のある回答者のうちの84.3%は今後の利用についてポジティブな印象を持っていることがわかりました。一方、利用経験のない回答者については、「あまり思わない」「全く思わない」といった利用にネガティブな層が76.1%と多数派であり、これまでの利用経験の有無によって、今後の利用意欲に大きな差があることがわかりました。

Q12 今後のスポット保育士利用に関する回答理由を教えてください。(自由回答)

※回答理由(自由回答)については、後半ページに記載しています。

スポット保育士を利用する/利用しない際に必要なこと

Q13 スポット保育士を今後利用する場合、必要だと思うことは何ですか(複数選択可)

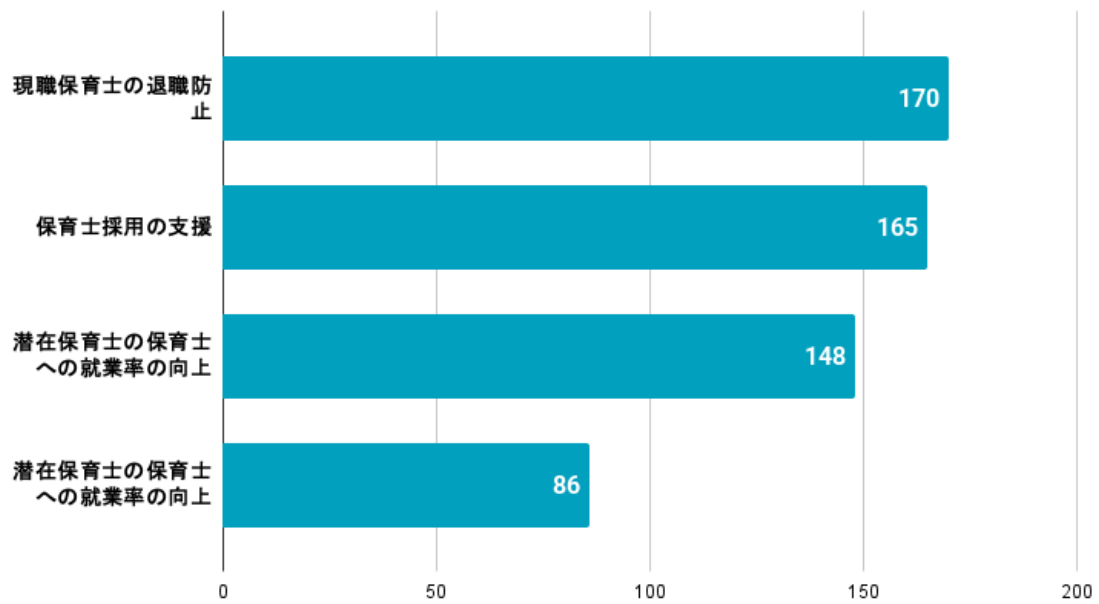


利用経験の有無に関わらず、スポット保育士についての事前情報や、マッチング精度の向上を求める声が多くありました。

利用経験がある層においては、補助金など利用にあたっての「具体的なサポート」をより強く求める一方、利用経験のない層は、手順ガイドラインやネガティブ印象の払拭、保護者理解など「情報面」の条件を重視している傾向が見られました。

また未利用層で「今後利用したい」と回答している層に限定すると、「手配方法がわからない」「手間がかかる」「費用が高い」などをあげる回答も見られました。

Q14 スポット保育士を今後利用しないようにする場合どのような取り組みが必要だと思いますか(複数選択可)



今後スポット保育士を利用しないようにするには、「現職保育士の退職防止」「保育士採用の支援」など、人材不足となる状況を招かないような取り組みが必要であるとする施設が多く見られました。

Q15 その他、スポット保育士の利用に関するご意見があれば教えてください。(自由回答)
※自由回答については、後半ページに記載しています。

自由回答

Q8 スポット保育士を利用した際の満足度を教えてください 回答理由

ポジティブな回答

- 保育士に余裕が生まれ、休憩も各自1時間入ることができ、なお行事物の製作も行っていただける。
- 丁寧に業務にあたっていたため
- 真面目に業務を果たしてくれた。
- 保育士に余裕ができ事務の時間が取れるようになった。
- 知り合いの保育士だったため保育内容等理解し保育に入ってもらえた
- ”保育士が保育に専念できる
- 午睡中にやっていたトイレ掃除や草取りなど環境整備をやってもらうことで休憩の時間が確保できるようになった”
- フリーの保育士とはまた違った役割等を担っていただきサポートしてもらっている
- 率直に、潜在保育士ってこんなに居たんだという感想です。非常に優秀な方々が多く、助かっています。リピーターになってくれている方の中には、採用に繋がった方もおり、新時代の採用ツールとしても活用できております。こちらとしてもその人の様子を知ることが出来、本人も園の様子を十分に把握できるなど、双方にメリットがあり、納得の上採用に繋がるためウィンウィンな関係と言えます。人件費以外にも2割ほど会社に払う必要がありますが、派遣に比べると手頃です。もうこれなくして、日々の運営は出来ませんね。
- 余裕がある人員で行事を行う事で、きめ細やかに子どもたちを見る事が出来た。
- これを機に保育士を目指していただきたいので、体験してもらったことに満足。
- 子ども達に優しく接していたので
- 目的が達成された
- 勤務してくれる日は保育配置に余裕がもてる
- 人によるが経験のある方が来てくれた時は戦力になり助かりました
- ”気遣いがよく、言われたことに対してしっかり業務に励み自ら仕事がないかを探る姿勢があるため
- そのおかげで事務作業や清掃面などで非常に助かっている”
- 子どもの見守り対応の人数が増えた
- こちらの要望には誠実に対応してくださる方ばかりでありました
- 育児中の職員を中心に勤務時間に融通が付けられる。退職職員のため職員・園児・保護者からの信頼感がある。
- 必要な時間に必要な個所に配置できること。
- 急な欠勤に対応できる

慎重論

- 人によってばらつきがあるから。
- その人によって満足度はかわります。
- スキル差が大きい。リピーターの方は社員なみに馴染んでお仕事してくださる方もいらっしゃる、大変ありがたいです。
- 人員の面で安心できる部分はあるが、来る人の保育スキルや対応力によるから。
- いろんな出会いがあり良かったが、スポットだと役に立たないとの現場の意見もあり、リピーター限定に切り替えた。
- 毎回同じ人が来る訳ではないため
- 応募9人に対して8人。全員潜在保育士。まだ募集中。

ネガティブな意見

- 長期雇用のお試しとして、という条件で出しても、事前質問の時点で【長期勤務は検討しない】というミスマッチがおきているので。
- 金額に対して、働きが悪い。

Q10 スポット保育士に対して特に不安に感じている点や、課題があれば教えてください。(自由回答)

子どもたちへの影響

- 普段の子どもとの関わりや保育の質が損なわれる気がする
- 子どもにとって知らない人が食事介助やおむつ替え等行うことで安心して日々の生活が送れなさそうのため。
- 子どもとの信頼関係を築く時間が足りない。個人情報や守秘義務の徹底に不安。
- 子どもの発達状況を把握できない可能性があるのではないかとおもう。
- 子どもが慣れなくて落ち着かない気がする
- ”子どもとの愛着関係など、日々の生活の中で育まれていくものだと思うのですが、スポット保育士になるとそのあたりが難しいのではないかと思います。
- 子どもたちが人見知りをしてしまう
- 子どもとの信頼関係の構築
- ”子どもにとって、信頼関係が重要な時期にとても抵抗がある
- 保育という子どもとの信頼関係の中において営む職務であることから、スポット的に保育をするという考え方は子どもの心身における成長において大きな影響を及ぼすことが考えられる。どの業種においても人手不足が懸念されていると思うが、保育は誰でも人さえいればよいという仕事ではなく、そのように他業種と同様に考えられることを大変危惧している。
- こどもの感情がどんなものか、こどもが不安ではないか
- 子どもや親との信頼関係をスポットの働き方で構築できるかが疑問
- 0～2歳のこどもの情緒の安定を考えると、毎日同じ保育士での関わりが必要だと感じる。スポットできていただき、配置人数はクリアしても、人見知りで泣く子の一日はどんよりしたものとなる。保育のベースを情緒の安定の上で行っているので、なかなか難しいと感じる。
- こどもとの信頼関係を築くことが難しいと感じるから

オペレーションの課題

- また、当園は少人数で運営しているため、そのような状態ではかえって周囲の職員への負担が増加してしまいます。
- ただ見守ればよい施設ではないのでスポットは難しいかと思ってしまう。
- 施設の使い方など、初めて来た場所では全くわからないと思うので施設の使い方、そこそこのルールなどその人について伝達することが必要になるとしたら、逆に人手がとられてしまう可能性もあるのではないかな？
- 配置調書の保育士の人数は足りても、実際現場で動くことができれば他の保育者の負担が大きくなると思う。
- 子どもの名前や物の置き場所が把握できていない方に対しては、園としてどのような業務をお願いすればよいのか判断が難しい状況です。
- 対応が難しい 教えるなどの

- 継続して来て下さるなら良いと思うが、新しい方が来るたびに業務を教える手間が増えてしまう事が心配
- 情報共有のあり方
- 信頼関係が築けていない中でチームワークを組まなければならないこと。情報の守秘面が不安です。
- カリキュラム等の情報共有、もしくは知りえた情報の漏洩について不安がある

理念や保育方針、保育の質

- 保育園によって保育のやり方が違うし、子どもたちも戸惑うので？
- 保育理念への理解や他の職員との関係性づくりや保育士としての信頼感等に不安を感じる
- 職員全員で園内研修など日頃から学ぶ機会を多く設けています。足並みをそろえてのチーム保育をしている昨今、そこへ上手に入っていけるかどうか？またけがを場合の対応や乳児保育のイヤイヤ期の難しい対応、保護者への声掛けなど不安です。
- 人手が足りないところを補いたい思っている、当園の保育理念・方針をきちんと理解し、こちらが求める関わりが即できるとは思えないので、使うつもりはない。
- 業務に対する意識が他の職員と同じように保てるかが気になります。
- 企業風土、理念を理解し働けるのか。
- スポットだから、という考えの方が多いため、保育の質の担保も難しいし、保育、園の業務への責任感に欠けるという意味で人間性の質の担保も難しいと思う。
- 自園の保育内容などを都度都度伝えられるか不安がある。日替わりでとなると安全を担保できるか不安である。
- 来る人によってスキルが違うので、保育の質の担保が難しくなる。費用がいくらかかるのか不明
- 園の方針や日常の流れを伝えきれないのではないかと心配
- いつもの先生、ではなくなる点。
- 保護者への説明がしづらい

安全面やリスク

- ケガをした場合の責任問題
- 安全性や質の担保が難しそうであり、保育者がスポットで増えても子ども達や在籍している先生の負担はそれほどかわらないと思う。
- どんな人が来るかわからない。初対面の人に園児を任せたいと思わない。
- 単発での勤務のため、安全性や保育の質に影響が出ないか不安
- 子どもの信頼関係の無い保育士、及び素性が分からない性格の人間を保育に入れるのに大きな抵抗がある。それにスポットだとトラブルがあった際の保険や対応方法などに疑問が残る。保護者からもスポット保育士を「使わざるを得ない状況」下である事が認識されると、結果として保育士不足から質の懸念事項に発展しかねないので、総合的に考えてもスポット保育士は不要と考えています。保育としての用途ではなく雑務としての用途なら可能だと思うが、そうすると保育士資格が無い人でも対応が出来る。
- 保育園の理念を理解されていない方が単発で保育に入ることに抵抗感があります。また、守秘義務についても心配があります。スポット保育士の方が、園の個人情報を外部に漏らすなど。
- どんな方かもわからない人を園に入れることに怖さを感じる”
- 保育については連携が必要だと思うため、安全面など心配です。
- 腸内検査をやっていない方が入ると、給食等の補助をお願いできない
- 保育の質や情報漏洩が怖い
- 事前に勤務者がどのような人物かがわからないと、園児の安全面等を担保することができない。
- 園にいる園児の個々の把握ができず安心・安全な保育ができないため利用しようとは考えていない
- 保育の質、特に安全面において、子どもにとっても、保護者や既存のスタッフにとっても、安心できるとは思えないため。

- どのような方が来られるかがわからないため
- 人物保証がないこと。
- 職員の補充には助かるかもしれないが、子どもを見守る職員とするのは、状況の判断もしっかりできる方でないと、怪我などに繋がってしまう恐れもあるため、不安ではある。
- 保護者にとっての「安心感」が担保できないと感じる
- 職員間の連携が取りにくい、子どもとの信頼関係が希薄だったりする中で安全な保育を保證することが可能なかどうか不安。

ミスマッチ

- 募集はかけているが来たことが無い。こちらの欲しい時間帯(7～9時とか17～20時)では来ない。9～14時くらいの希望が多すぎて、その時間だけあふれかえっている。
- 単発、短時間では絶対使わない。
- 現状常に保育士は募集しているがなかなか自園にマッチする人がいない。応募さえない現状もある。
- 条件にあった人材が見つかるかどうか不安
- バイリンガル保育を行っているので、スポットでの採用には難がある。
- そもそも近隣でスポット保育士を雇用する事ができない
- 地方なので、そもそもスポット保育士の人材がいない。
- そもそも人材がいない

スポット人材への不安

- 不適切保育に対しての不安。また、新たに業務を伝達することが負担
- 単発的な印象がある。
- イメージと違う職場と感じすぐに辞めていく印象がある。
- そもそもスポット保育士がわからない。その時間だけくるとか依頼した時間だけ来るものなのか知りたい。子どもたちが懐くのか、一緒にどこまでやってもらうのかなど沢山不安な面があるように思う。ただ本当にそのなり手がいて同じ方を毎回指名できるなどがあるなら助かるときもあるのかなと思います。
- 信頼ができるのかなど
- 事前にどんな方がこられるのかわからないので心配
- 外部のどんな方が来るかわからないこと。
- 責任感や急な休みなどあてにならない。
- この業種で責任をもって働く意思のある人はほぼ現場にいるように思う。隙間バイトのようにとらえられるのは不安がある
- その人の背景や、スキル、人柄などがスポットだと読みとりづらい。また毎回仕事を伝えないといけないことが職員の負担になる。人も環境の一部の為、その人が入ることで、子どもの中には何かしら感じ取り、安心して過ごせない子の中にはいる。
- 保育士としての資質に大きな不安を感じる
- そもそも近隣でスポット保育士を雇用する事ができない
- 人に対しての責任、重要性がどうしても薄れやすい。
- 手配方法が不明な点、安全面、園児との関係性の構築に不安を感じます。
- 保育士としての責任をどの程度持って仕事にあたってもらえるのか。周りの先生方との兼ね合いもあり不安を感じる。

費用面

- 即戦力で働けるかどうかと予算の問題
- 費用面で派遣社員より安価であれば、利用したいと思います。

- 費用面で難しいと考えています。
- 採用担当課での管理は難しく必ず専門業者を介する必要があるため、費用がかさむのではないかと。

知らない、わからない

- 利用したこと(利用したいと思ったこと)がないためわからない
- 利用したことがないので分からない。
- 費用 保育の質 仕組みがわからない
- コンタクト方法がわからない
- 利用の仕方がよく分からないこと。どのような人が来るのかが分からないことが心配。
- 詳しくわからないのでいろいろ話は聞いてみたい
- 利用方法や事務手続きが簡単であれば利用したい
- 意味を知らないため、必要性も何もないです。臨時的に対応する保育士の雇用をというのであれば予算が経てない分、無理が生じます。スポットということで必要ないときは使わなくてよいというのであればあとはタイミングですね。契約をどう交わし、何日前から連絡するのか？そういうことがわかると良いですね。
- 近隣にそんな事業所があるのか知らない。

自治体の方針、ルール

- 国や自治体の示す採用までに、事前面接や、その他必要な手続きなどを考えると、スポット保育士の活用は難しい。
- 行政との事務的な事で急なスポットで保育士を雇えない
- 自治体として人数に入れられないとなると、居ても保育士の人数換算できないのでは利用しづらい。
- 市の方針として職員配置数に組み込めないことや、単発で雇用されるスポット保育士に任せられる業務に限られ、保育補助を雇用した方が保育の質が担保されると思われる。
- 労基的事務

その他

- 保育士の数が欲しい場合や目数のみ必要であれば、スポットで対応していただくことを必要とする場所もあるのかもしれない。
- 海外ではそうした働き方も少なくなく、急な欠員対応が可能となっているので、日本国内ではどのような理由でスポット保育士という働き方を選択しているのか調査結果が明らかにされれば、結果いかんで利用を検討しても良いかと思う。
- スポット保育士の前にやるべきことがたくさんある
- 必要性を感じない
- 考えたことがなかったので、利用している園の話を聞く機会があれば聞いてみたい
- 保護者との信頼関係の構築
- 今の職員体制で問題ないので特に何も感じません
- 現状、近隣で利用している園はなく、現状活用する予定はない。
- 現在は利用できるのであれば、利用したいと感じるときがある。
- サポート的な立ち位置であれば特に不安などはありません

Q12 今後のスポット保育士利用に関する回答理由を教えてください

人員不足への対応

- 人員不足な為
- 保育士不足であるため。急に保育士が欠けた場合に利用したい。
- 保育に余裕ができる。
- 急な職員の休みに対応するため
- 職員の病欠 子どものための病欠などに即対応できたらベンリ
- 扶養内のパートさんの勤務時間が超えてしまいがちなので、隙間時間を埋めてほしい
- 本来は保育士の配置上、決まった人員が望ましいから。緊急事態の場合、どうしても保育士が不足するなら利用はありかもしれない。
- 保育士の仕事量の削減でき助かっている
- 通常の募集では、保育士が集まらないから
- 現状は人員が充足しているためあまり思わないが、いざという時は検討したい。
- 本当に必要な時間に手伝ってもらえるなら保育士を募集してもなかなか来ないので助かります。
- ある日だけ足りない、ある時間帯だけ足りないという場合が出てきている 急に欠員が出た時にほしい
- 日中人は足りているが、朝や夕方など手の足りない時がある。
- 人員不足で使用したいと思うこともあるが何とかしのいでいる為。
- 配置基準どおりでは保育に制限が大きかったり安全な保育ができない場合がある。プラスアルファの人員がいることで、活動の幅が広がる。保育士不足で採用が困難なため。
- 正職員の休憩時間や事務時間の確保など
- 早い時間や遅い時間など特定の時間帯で当番職員が欠勤せざるを得ない場合などに活用したい。
- 急きょ休みが入った際に困ることがある。
- 急な休みの時の対応ができる
- 時間帯によって職員配置が難しい時がある
- 職員として採用するほどの余裕はないが、欠員した時の補充はしたい
- 人がいない時にいてくれて、とても助かったので
- 常勤保育士で人数が足りなくなった時に利用したいと思う
- 時期によって期間限定で保育士を雇いたいときがあり、短期で募集をかけてもなかなか申し込みがなく、結局常勤の保育士でやりくりしていたので。
- 職員の業務負担軽減と休暇取得の為
- 職員の休憩時間確保や書類作成のため
- 保育士の負担軽減と子どもたちへの見守り強化のため
- 加配が必要な園児がいるが、一日中必要なわけではなく、登園～給食までを手厚くするのにスポット保育士が必要
- 急な人数不足やこまごまとした事務作業などで助けていただきたいため
- 非常勤の契約では補えない必要な時間帯の職員の確保
- 土曜日や夜間など。また職員研修で全員集まりたい場合の保育
- 休暇代替職員の確保が難しくなっていること
- 夕方の保育士が手薄になるときなどは必要を感じる
- 人材確保の観点から
- 正規職員の多様化する働き方に合わせ(育児短時間勤務など)すき間を埋めてくれる保育士が今後必要となってくる可能性があること
- 人手が手薄になる時間帯が限られているので、その時間帯だけいてくれると非常に助かる
- 早朝、延長保育時間中に一人でもいると助かる

- 短時間の必要性しかない時間帯があるため

採用活動の一環として

- スポット保育士が有能であれば、直接雇用したいと考えるため。採用活動の1つとしてはアリだと考えています。
- 出来れば、フルタイム勤務できる保育士が必要だが、確保できないのでスポットを利用したい
- もし、良い方と出会えば正規で入職のお誘いが出来ると思うから。
- 自治体の採用システムがあるので、利用は困難であると思うが、欠員が複数で生じており、どのような形でもまずは欠員を埋めたいと強く感じている。
- 良い人材だったら、その後も含めて勧誘するが、あまり希望に沿わない場合は契約を切りやすい。
- 保育士の求人を出しているが応募がないから

条件次第

- 保育士の事前情報や人柄などがわかればと仕事の割り振りの明確さ
- 短い時間であっても毎日来て下さるのであれば考える
- 費用面が抑えられて必要な際にすぐに手配が出来るなど利便性があるのなら
- 保育士がいるのであれば
- 当人の意志によります
- 保育に対する責任感がどうか
- エントリーしてくれる保育士がいるかどうか

興味がある

- 不安はあるものの一度は利用してみたいと思う
- 社会的に利用してもよいとのことであれば、利用したい
- 保育士としての質とコミュニケーション能力が高ければ利用したい
- 詳細を知りたい

その他コメント

- 育休制度が整ってきた分、早番・遅番の対応可能な職員に限られてくる。職員の負担を減らし、安心して仕事ができる環境を作りたいが、勤務年数の長い職員が多く、正職員を採用するには経費が厳しい。スポット保育士でも長く勤務していけばキャリア形成できると考える。
- これを機に保育士を目指していただける人財が増えるよう後押ししたい。
- 保育園と本人双方がウィンウィンである
- メリットが多い

情報収集中

- 現状必要ないが、施設状況によっては必要になる場面もあるかもしれない。
- スポット保育士が今後、人手不足対策になっていくのか、利用することのメリット、デメリットの情報は集めていきたい。
- まだ考え中

保育の質が担保できない

- 子どもに慣れてないことや、何もできないと思う。
- 子どもにとっていい影響があるとは思えないため
- 短時間、初めての人と関わることが、子どもが安心できる環境だとは思えない。

- 保育の連続性を鑑みたときに「普段の園児を知っている」ということが強みになるため、スポットだとその部分を担保することが難しい。ただし慢性的な人手不足の場合は頼らざるを得ないこともたしか。
- スポットほどスキルを問われるものはないと思っているから。
- 保育の質の担保が難しいと感じる
- 保育の質や情報漏洩が怖い
- 継続的な関わりが大切となる保育の現場で子どもにとっても保育者にとってもスポット保育士という形が適すると感じられない。
- 自園の保育方針で保育できないから
- しっかり保育士の人材を確保して運営していきたいから
- 本園の理念や保育方針が、短期の方に理解していけるのかと思うから。
- 園児数減に伴い、今いる職員でも足りているし、合同クラスなどの対応で対処できるため。
- 当園の教育・保育目標を理解して業務にあたることができるのか、疑問。
- 教育・保育には園児に対する共通理解、職員の相互理解が必須だと思うため。
- 自園の理念のどれだけ理解して保育に入ってもらえるか不明なため。
- 保育の質の担保の問題 園内職員とのコミュニケーション

不安

- すぐその環境に馴染める人ばかりではないと思うので
- 信頼性に欠けると思うから
- 即戦力としては使えない
- バックグラウンドがよくわからないから
- 保育士としての質の問題
- どんな方がくるか分からないから
- 気軽に働けるということで、スポットの方にはメリットがあるだろうが、無責任な仕事ぶりの方も見受けられるため、職場側にはメリットよりデメリットのほうが大きい。
- 身元が不確かな印象をぬぐえない。毎日の継続的な子どもへの関わりが重要だと思うがその点が満たせない。保護者が不安に思う。

安全面へのリスク

- 事故事件がないように安全安心な保育を提供したい
- 保育感や安全性、衛生観念などの共有に懸念がある
- 安全面、個人情報保護の問題や、スポット保育士の方の経歴や性格なども分からない
- 子どもの命を預けることができない。
- 命を預かる場所なので安全面で不安がある。
- 人の命を扱う仕事なので、スポットで雇うということが向いていないように感じるため
- 安全の担保が確実だとは思えないため。継続的に子どもの育ちについて一緒に携わっていけないため。

スポットという勤務体系が運用と合わない

- お願いできることが限られているから。
- スポット保育士を入れても保育補助的な役割しか望めず、あまりシフトにプラスにならない
- 定期的に勤務の方でないと率先力にならないため
- 保育には連続性があつたり、職員間の連携が必要だと感じるため
- スポット的に雇用するのは難しい。
- その人との信頼関係を結びにくい 現場のチームワークがとりにくい

- 一緒に働く保育士にとって負担があるのではないかという懸念がある

スポット勤務は保育の現場にふさわしくない

- 保育の根幹として子どもと大人の信頼関係を大切にすることが考えられる
- 中、単発的で信頼関係が大変築きにくいスポット保育士の運用は難しいと思います。
- 短時間、単発などで保育をしてほしくない
- 長く続けてくださる方が欲しい。
- 継続して勤務できる職員とともに、職員体制を整えたいと思うから。
- 園児との信頼関係がない場合、何もならないから
- 雇用関係が成立していないことが両方にとって良くないと思う。

できるだけ固定スタッフで運用したい

- スポット保育士を使うことに意識を持っていくのではなく、常に正規職員、常勤パート確保に意識を向けている。
- よほど緊急の状況でない限り、正規のスタッフで対応したいと考えているため。
- 職員定着の安定性を考えると、スポット保育士は必要ないかなと思うため。
- スポットではなくパートで雇用したい。スポットであればスポット支援員でも良いと考える。
- 様々なこともや保護者と関わるため、信頼関係を気づくことがむづかしい。それよりも常用保育士で、代替え、職員を園に配置したほうがよい。

政府、自治体の対応次第

- R6.11月～R7.2月まで、こども庁からの通知によりそれ以降はしなくなった。
- 国や自治体が消極的である。質の低下や児童虐待のリスクを懸念している
- スポットになるので、配置基準の対象になるのか？他補助金等で活用ができるのか？いろいろと考えてしまいます。

その他否定的なコメント

- 不安な面が多いので
- 不安・心配・恐怖
- このニーズがどこにあるのかわからない・・・。

必要性がない

- 現職員でなんとかできているため
- 保育士が足りない時は近隣の系列園よりヘルプで来てもらえる
- 現時点でスポットのように、「〇〇先生が休みの日にその先生の時間帯で来てくれる」の職員がいるから
- 職員が余っている為
- 今のところで職員は足りているし、信用できない。
- 利用する必要がないと考えているから
- 現段階では、少し余裕を持たせた職員配置にしているので、必要ない。

情報不足、わからない

- 内容や利用方法等、十分理解できていないところがあるため
- どんなサービスかまずは知りたい
- 値段やシステムがわからないため

- 必要性を感じていないことと、条件など詳しく知らない。
- どのような場面で活用すればよいのか、勉強不足で分からない
- 何の事かわからない
- どの様な制度なのかもわからない為
- これまでの実績が無いため。
- スポット保育士についての知識があまりないため

その他

- 土曜保育の利用がないので
- シフト崩壊
- 既に同じような取り組みを別途している。
- 危険すぎるから
- 子どもとの信頼関係構築に不安がある
- たまに人手が足りない時などこの時間だけ入ってくればということはあるが、全く知らない人が単発で入ってもらうことに不安はある
- スポット保育士を利用しなければならないこと自体が、職場の不安を招くため。
- 園児や保護者との関係づくりに不安

Q15 その他、スポット保育士の利用に関するご意見があれば教えてください。(自由回答)

-
- タイミーなど他業種も含めた登録サイト以外に保育士専門のスポット募集のサイトがあれば便利だと思っています。
 - スポット保育士は、弊社では職員として「スポット保育士」として採用しているため、保護者にも入所前に休憩代替え保育士の為保育に入りますと説明している。
 - 実際にスポット保育士を利用している園では、どのように活用しているのか事例を知りたいです。
 - スポット保育士勤務上で起こりうる事故等の責任の有無や保証
 - 継続勤務からの採用を視野に入れて利用できれば良いと思う
 - 当園は企業主導型保育園なので、コストがかけずらい面があります。市原市の待機児童が緩和され、園児が減ってきているので、補助金がもらえない(園児の人数によって左右されるため)ことで、極力コストをかけずに行いたいのが現状です。
 - 国も利用が望ましくないとの見解ですよ？
 - 園それぞれ違いがあることが当たり前で、それを理解し、子どもにとって良い関係が築けていけるとは思えません。前向きに利用したいとは基本的にまだ思えません。
 - 現在、利用する予定はない
 - 行事等人手が必要な時は良いかもしれないが、日々の生活の中では任せられることがない。
 - 職員が充足していても、怪我や病気などで立て続いて欠勤してしまうことがあるが、そのための予備人員を確保するとすると、人件費が増大してしまう。あくまでも急な場合の予備人員としての活用であれば利用もやむを得ないと思うが、根なし草のような働き方を選ぶ人が適切な保育ができるかどうか不安でならない。
 - 使ってみたいとは思っているので話は聞いてみたいです
 - 当園は恐らく、この辺の地域でもっとも利用している園です。何か情報などお力になれることありましたらいつでもご連絡ください。
 - こども庁の通知は妥当だと思う。出会いは多々あったが、結局本採用にはつながらなかった。
 - イメージがあんまりよろしくない、、、

- 制度を無くすか、最低でも3カ月とかにするとかしてほしい。
- スポット保育士がなぜ必要なのか理由がわからない
- 自由に登録できて、事前に本人を確認する術すらない現状では、利用することそのものが、すでに問題であるとする。前述の通り、このような人材に頼らなくてもすむような制度や体制の確立が望まれる。
- 忙しいので記事自体に反応は出来ませんでした。潜在保育士の余った時間をスポット就業に充てることに意義はあると思います。
- 全て常勤保育士だから保育の質が高い、スポット保育士が保育の質を下げる、と言う見方はあまりにもステレオタイプ的で気味が悪いですね。
- 保育の質云々は別の次元の話です。”
- スポット保育士を利用する側の責任があるのならば、スポット保育士本人そのものの責務についても（保育士という職業）同等に扱う必要性がある
- 必要ないからいらない
- 一時保育もそうだが、事務手続きが面倒くさい
- 必要な時にすぐに配置できるのか、コストを抑えられるのか为重点的に気になることです。
- スポットで働く側のメリットも大きい。仕組み自体は良いと思います。正規で就職活動をする前に職場環境の確認ができる点や、短期の離職期間を有効活用できる点などは、通常の就職活動ではなかなか補えない部分です。園側も、慣れた方には職員になっていただきたく声をかけさせていただくことがあります。介護や育児、妊活、勉強などと並行されている方も多く、それらと両立するために、あえてスポットワークの働き方を選ぶ方も多い印象です。スポットワークを使わないようにという方針ではなく、保育士の仕事を細分化し、スポットワーカーも含めた多様なメンバーがいるチームで、どのように保育を組み立てるかという視点で考えていきたいです。今までパート保育士の雇用を想定していましたが、パート保育士の採用も困難を極めています。そのため保育の質の向上、安全性の担保でプラス配置としてスポットワーカーを利用する場合は、一定の補助制度が活用できると大変ありがたいです。
- 積極性のある方であればよいが、保育室に入って子どもとうまく関われない、配慮不足等の動きであれば、職員の負担が大きくなる。
- 乳幼児を育てるという観点から、安定した就労のもと保育を進めることが大切だと思います。
- 単発の保育士は特に要らないが、毎週土曜日だけは確実に来てくれるなど「週イチ保育士」はいていただけるとありがたい
- 利用してみてタイミーが強い理由が良く分かった。
- 本人の働き方について、確認することが必要だと思う。
- ”明石市ですが、、、復帰月からしか保育所に入れない(次月復帰は認めない)や2・3月の募集はない等制約が多く、毎年4月上旬に限り育休明け職員の慣らし保育終わり待ちが発生する。
- しかも先日、スポット保育士は基本使わないように。使っても、人数として認めないというないような伝達があると、利用は難しい。自治体が変わるしかないのでは？保育士の子どもだけでも、3月から慣らし保育可能だと、4月からの保育もスムーズなのに、、、と思います。”
- 保育現場を全く知らない方々が机上の空論ばかりしているから、こんな的外れな政策を提案してくるのだと思う。現場で一週間でもいいから働き、子どもの安全と発達を保障するということの本当の意味を知るべき。
- 保育士自身に応じた働き方のひとつとしても、完全復帰の前のプレ的な意味でもよいのではないかなと思う一方で、短時間の関りになるためあくまでも補助の補助といった立ち位置にしかねない面もあり、ただの穴埋め的な扱いになりかねないという懸念もあります。
- 人材については悩みが多いです。仕事と割り切って、頑張ってもらいたいし、できない人にも優しく指導する余裕が欲しいです。質の低下、基本的な学力の低下は否めません。なので、子どもに向き合う保育士さんが一人でも多いほうが負担が減る半面、やはり命を預かる仕事で適当にされても困るので、難しいと感じています。保護者対応などちょっとした行き違いが生じ、フォローも大変です。
- 研修機会の充実

- 紹介会社に支払う費用が大きいだろうし、しかも、ミスマッチが起こりやすいと思う。
- 本来、フルタイム勤務で人数を確保したい。国からの処遇改善手当ではなく、もともとの給与基準を引き上げてほしいと考えているので、スポット保育士の身分保障などが必要だと思う。各事業所の負担・裁量に頼らないでほしい。
- スポット保育士を含め、派遣で保育園などで働ける制度があることで、園へ直接、就職を希望する人がより減ってしまう危険性もあるので、原則、派遣会社への登録制度はなくしてほしい。
- 産休・育休は期限が決まっているので常勤保育士の採用は難しいが、産休代替職員等募集すればすぐ見つかる前提で制度が出来上がっているなので、使いずらく、スポット的な依頼になってしまう。